

お盆は過ぎましたが、まだ暑い日が続くことが予想されます。乳幼児健診などの会場では、引き続き暑さ対策を徹底しましょう。

県内では手足口病の発生は減少傾向にあるものの、引き続き注意が必要な状況です。またインフルエンザについても今後の動向に注意が必要です。手洗い等の基本的な感染対策の徹底について、引き続き周知をお願いします。

今回は、災害対応、母子保健技術研修会Ⅰ、今後の研修会のお知らせなどについてお伝えします。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

…災害対応について…

7月28日に熊本地震、8月13日には千葉豪雨と、大規模な地震や豪雨災害が各地で発生しています。県内でも4月に大町市付近で最大震度5強を観測する地震が発生しました。このような自然災害は、いつでもどこでも発生しえる状況です。有事の際にスムーズな対応ができるよう、日頃から関係者と情報共有し連携体制を整えておくことが重要です。

項 目	内 容 等
妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについて (こども家庭庁事務連絡)	災害救助法の適用を受けた地域から避難してきた妊婦が、妊婦健康診査を受診できるよう、避難先自治体が妊婦健康診査受診券を交付する等適切な受診機会の確保をお願いします。また、乳幼児健康診査についても、避難先自治体で受診機会を確保できるよう対応をお願いします
災害時の母子保健対策に関するマニュアル等について (情報提供)	災害対応のための情報（こども家庭庁 健やか親子HP） https://sukoyaka21.cfa.go.jp/useful-tools/saigai/ ※ホームページに以下のマニュアルや情報が掲載されていますので、平時からの取り組みや災害時の支援を行う際の参考としてください ○避難所等で生活している妊産婦・乳幼児に対する支援のポイント ○避難所等で生活している妊産婦・乳幼児に対する支援の手引き <point>この手引きには、特に妊産婦・乳幼児への対応に焦点を当て、自治体職員が把握しておくことが望ましい知識や確認配慮すべき事項、支援等について、準備期から発災後1か月までについて記載されています。手引きの最後には、参考となる資料や情報のホームページURLがまとめて掲載されています。 ○災害時の妊産婦を守る情報共有マニュアル ○災害後の中長期的な母子保健対策マニュアル ○支援をする人のための情報



妊婦や乳幼児のいる家庭では、災害への備えとともに、家庭内の安全対策についても日頃から考えておくことが大切です。妊娠届提出時の面接や各種母子保健事業の機会を活用し、防災に関する普及啓発を行っていくことが望まれます。

また母子健康手帳には、妊娠、出産の経過、子どもの発育状況、予防接種歴等の重要な情報が記載されています。災害時に必要な情報を速やかに確認できるよう、平時から母子健康手帳をすぐ持ち出せる場所に保管することや、外出時に携行することの重要性を周知することが大切です。

.....令和8年度母子保健技術研修会Ⅰを開催しました（6月9日）.....

テーマ：「乳幼児健診の基本のきほん」
講義1：「総論・疾病スクリーニング編」
講義2：「乳幼児編」
集合研修は市町村新規採用保健師、オンライン研修は新人育成に関わる保健師等を対象に開催しました。

講師：疾病・感染症対策課 課長 長瀬 有紀

○集合研修

【参加者数】36名（市町村） 【理解度（5点満点）】 講義1：4.6点 講義2：4.6点

○オンライン研修

【参加者数】29名（市町村・保健福祉事務所） 【理解度（5点満点）】 講義1：4.3点 講義2：4.3点

参加者のアンケート結果から

- ・健診は、支援や見守りが必要なことに気がつくためのものという基本的な考えを再確認できた。
- ・心配な面だけではなく、強みを見つけて支援していくことが大切だと感じた。
- ・他市町村での母子保健の進め方や、事業についても共有する場となった。



研修後半は、4か月児健診の保健指導をテーマにグループワークを行いました。各市町村の母子事業についても情報交換ができ、また様々な視点から保健指導のあり方を考える機会になったと思います。実践を通して今回の学びを深めていただけたらと思います。

今後の研修会のお知らせ



研修会	開催日	内 容	方 法
母子保健専門研修会	12月9日(水) 午後開催予定 (時間未定)	流産・死産等を経験されたご両親やご家族への理解を深め、支援者に求められる姿勢や対応等を学ぶ 講師：聖路加国際大学 天使の保護者ルカの会 蛭田 明子氏	Web 開催

流産・死産を経験されたご両親やご家族への支援に関して、質問や気になることがありましたら、研修会の参考とさせていただきますので、事前にお寄せいただけたら幸いです。



情報提供

妊産婦等のメンタルヘルス支援体制ネットワーク構築事業について

7月に4圏域で開催した研修会では、妊娠中にメンタル不調を訴える方への支援場面を想定し、共通診療パス（仮）を用いたロールプレイを実施しました。その後、共通診療パス（仮）を使用して初めての感想や課題等について意見交換を行いました。

11月から12月頃にかけて、4圏域において再度、研修会を開催する予定です。

「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について

先天性サイトメガロウイルス感染症に関する新しい知見を踏まえ、新生児期及び乳幼児期の聴覚検査の実施体制の向上を目的に「新生児聴覚検査から療育・支援までを遅滞なく円滑に実施するための手引書」が改訂されました。ご一読ください。（8月24日付メールにて送付）

お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。



担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上田・諏訪・伊那・飯伊	柿澤	長野県庁 疾病・感染症対策 電話：026-235-7141 メール： bosi-hoken@pref.nagano.lg.jp
木曽・松本・大北・長野・北信	秦	